

東北文教大学

人間科学部
子ども教育学科

生活科学科 福祉こども専攻 こども保育コース

Q1.編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

私は四年制大学を目指していましたが、試験で思うような結果が出せず、迷っていました。しかし高校3年生の冬に、先生方や両親の紹介で桜の聖母短期大学から四年制大学への編入学の道があることを知りました。桜の聖母短期大学のこども保育コースで幼稚園教諭二種免許・保育士資格を取得し、さらなる資格の取得を求めて入学できることや、四年制大学への再挑戦の機会を得られることから、編入学を目指しました。

Q2.編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年次には頻繁に進路希望調査が取られ、自分の進路を確認する機会が多くあります。進路セミナーで編入学に向けた対策の時期・内容の目安の説明を受けたり、志願理由書の書き方の指導を受けました。

Q3.実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年次は編入英語や小論文指導など、編入学希望者向けの授業があり、その授業を履修して勉強しました。2年次は社会人基礎力という授業で、小論文・英語・面接に取り組むほか、自分の受験する大学に合わせてどんな対策をすれば良いかを先生方に相談して個別で対策を進めました。夏休みはキャリア支援センターの方に面接の日程を組んでいただき、先生方と面接練習を行いました。

Q4.編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

自分に合った対策方法を見つけることに時間をかけました。委員会の仕事や実習と両立させ、実力を伸ばしていくために、自己分析しながら対策を進めました。面接に向けて、色ペンを使って文字や図で書き出す方法で自己分析したり、小論文や英語は制限時間を決めて取り組んだりしました。一人で考え込んでしまわないように、先生方に相談をしたこともありました。

Q5.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

1番力になったのは、5回の実習です。実践をして、今まで知らなかったことを直接感じ取れるという経験から、これからさらに学びたいことは何かを考えるきっかけになります。実際に経験したことから得られた学びから、自分はどう感じたのか、編入学後どう深めていきたいのかなど、編入学への意志を明確にしていく上で、とても重要な学びでした。

Q6.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

自分をつくらずに、自分が学んできたこと・これから学びたいことを素直に話すことです。志願理由書を書くときは、どうしても大学が求める人物像に合わせようとして、大学の特徴に合わせて自分の動機を考えがちになります。そこで悩んだ私に、先生が難しく考えずに素直に話せば良いとアドバイスを下さったことで、面接では自分の素直な思いを大学にぶつけることができました。

Q7.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを書ける範囲で教えてください。

①あまり気が進まないままの受験でした。どんな学校なのか、あまり良くわかっておらず、とても不安だった気がします。

②私は会津出身だったため、福島市のことについて何も知らず、とても不安でした。また、自宅から通っている学生がほとんどで、話題についていけなかったことも辛かったです。しかし、編入学という同じ目標を持った友達が多くいたため、それを支えに頑張った気がします。

③問題の予測ができないため、自分がやってきたことが発揮できるのかという不安でいっぱいでした。しかし、そのときの自分が出せるように最終確認を丁寧に行いました。

④全く実感が湧かず、周りの人に「おめでとう」と言われることで実感していました。自分の頑張りが認めてもらえた嬉しさや、応援して下さった人に良い報告ができる幸せを感じていました。

Q8.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

編入学を目指して入学する学生の多くは、大学受験で思ったような結果が出せずに悔しい思いをした方だと思います。私もその一人です。桜の聖母短期大学では、学内でサポートしていただけたり、編入学を目指す学生と切磋琢磨したり、編入学する上で回りの方々の存在はとても大きいです。しかし、他の人の存在をあてにせず、自分から動くことが大切です！「編入学する」という目標を強く持ち続けて、自ら動いて学んでいくことができれば、結果はついてくると思います！もし、編入学を望んでいるなら、ぜひ桜の聖母短期大学で目標を追って行ってほしいです。